

◆ 第04号 平成18年1月20日発行

*****☆目次☆*****

- 【1】『巻頭言』 宮嶋泰子氏のクラブに寄せる期待
- 【2】『指定クラブ訪問記』 チャレンジドクラブ（高知県春野町）
- 【3】『総合型クラブ設立・運営のリスクマネジメント（その3）』 クラブの免責条項
- 【4】『世界のスポーツ&クラブライフ』 スペイン編
- 【5】『きてみて！クラブハウス』 ピュアスポーツクラブ（静岡県静岡市）

【1】『巻頭言』 宮嶋泰子氏のクラブに寄せる期待

■■■■■

地域のクラブの数は増えたけれど、スポーツをする人口は以前と変わっていないのが現状です。これでは何の意味もありません。一人でも多くの人にスポーツに親しんでもらうためにクラブを作ろうというのが本来の目的だったはずなんです。クラブのあり方、そして、スポーツの定義の仕方に問題があるのかもしれない。

常々感じているのですが、これまでの日本の主流だった競技スポーツにこだわる必要もなくなってきているようです。IT時代の中で脳がデジタル化し、競争社会の中で身も心もすり減らしてしまった人々が、人間性を回復できるような、優しい身体運動が求められているのです。現にクラブで最も人気があるのはウォーキングです。脱競技志向は会員獲得のための大きなポイントかもしれ

ません。

■また小さな子供たちを親と一緒に上手に取り込むことも大切でしょう。今キレる子供が増えていると言われていますが、3歳から10歳ぐらいまでに身体を動かして遊ぶことが子供の脳の発達には一番大切です。物騒な世の中になって外で遊ぶこともままならない子供たちが自由に走り回れる場を提供するのもクラブが出来ることの一つです。

先日訪れた岐阜のクラブでは幼児と一緒に週1度クラブにやってくるお母さんが「ここに来るようになってから風邪を引かなくなりました。今までは育児で家に閉じこもっていたのでストレスが溜まっていたのですぐ風邪を引いていたんですよ」とおっしゃっていました。子供と親のために、一挙両得ですね。

■そして、高齢者が楽しみにやって来られるような場を作ることも大切な課題でしょう。運動によってボケも防げますし、病院にかかる比率もぐんと減ってきます。また子供たちと関われるような場を提供することでお互いにとてもよい刺激を受け、人生の楽しみも増えるというものです。

体を動かす快楽をあらゆる年代の方に知っていただくことをテーマにすれば、気がついたときに、そこには素敵なコミュニティが出来上がっているはずです。今ほど体を動かす機会が求められていることは無いのですから。

(宮嶋泰子 テレビ朝日 報道ステーション リポーター兼ディレクター)

* 宮嶋泰子氏のクラブを訪ねる記事は、日本体育協会発行誌「Sports Just」の「総合型地域スポーツクラブを訪ねて」(好評連載中)で、ぜひご覧ください！

【2】『指定クラブ訪問記』 チャレンジクラブ (高知県春野町)



◆障がい者と健常者が一緒になってできるスポーツクラブづくりをめざしています。クラブマネジャーの片岡さんは、「最初は可能性がよくわからなかった。でも今は、何でもできるのが総合型だと思う」と目を輝かせます。

チャレンジド(神から挑戦という課題を与えられた人々)が、障がい者の新たなライフワークを創造しようと、レンガを積み上げるような活動を続けています。

(小松弘幸 高知県クラブ育成アドバイザー)

▼文章全文と写真はこちらから▼

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=30>

【3】『総合型クラブ設立・運営のリスクマネジメント(その3)』 クラブの免責条項

■Q；クラブの免責条項は、法律的にはどのくらい効果があるのですか？

A；スポーツクラブが会則や参加申込書を作成する場合、「クラブ内で起こった事故に関して当クラブは一切責任を負いません」などのクラブの免責条項をよく見かけます。しかしこの条項があっても、実際の状況次第でクラブは事故の責任を負う可能性は十分あります。（行政書士 谷塚 哲）

▼文章全文はこちらから▼

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=31>

【4】『世界のスポーツ&クラブライフ』 スペイン編



◆「リアルマドリード」では、空港の近郊に現在も建設中の施設があり、完成すれば天然芝・人工芝あわせて10面のグラウンドと、ゆったりとしたつくりのクラブハウスが備わった立派な施設になります。

見学した各クラブとも、土のグラウンドから最新式の人工芝グラウンドへの改修を行っていました。今まであったソフト面を生かすためにハードの整備を行い、クラブの環境を良くしていこうという考えからだと思います。

（藺田 稔 大分フットボールクラブ）

▼文章全文と写真ははこちらから▼

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=32>

【5】『きてみて！クラブハウス』 NPO法人ピュアスポーツクラブ （静岡県静岡市）



■スポーツもできるクラブハウスがあったらいいと思いませんか？

ピュアスポーツクラブのクラブハウスは、大きな鏡もある明るく開放的な空間です。ここでは、今人気のヨガやピラティスをはじめ、ダンスなどの教室も行われています。クラブハウスの愛称は「ブルーエンジェル」。表通りに面した立地で、ライトブルーの目立つ建物自体がクラブの広報も兼ねています。

▼文章全文と写真ははこちらから▼

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=33>

▽NPO法人ピュアスポーツクラブのHPはこちらから▽

<http://www.pure-sc.org>

次号は2月20日（月）発行予定です（主な内容紹介）

『巻頭言』 著名人からの応援メッセージ

『クラブ東西南北』 既に設立・運営されているクラブの紹介

『総合型クラブ設立・運営のリスクマネジメント（その4）』 契約

『世界のスポーツ&クラブライフ』 アイルランド編

『きてみて！クラブハウス』



☆☆☆ メール配信サービスのご案内 ☆☆☆



◆メールマガジン配信停止（退会）ご希望の方は、こちらから◆

<http://www.japan-sports.or.jp/local/mail/>

※お客様のメールアドレスが変更になる場合は、上記ページで一度
退会処理をされた後、再度登録手続きを行ってください。

◆当メールは送信専用で配信されており返信できません◆

Copyright (c) 2006 Japan Sports Association. All rights reserved